

No.579

2022.12.19

KINZOKU DANCHI NEWS Since 1974

金属団地ニュース

60th



岐阜県金属工業団地協同組合



組合親睦旅行開催

令和4年度組合員親睦(60周年記念)旅行を11月18日～20日の2泊3日で開催、九州は鹿児島～熊本～福岡へ17名で行ってまいりました。

■ 1日目

夜も明けきらぬ早朝、名鉄岐阜駅に集合。一人来ないので電話を入れると、まさかの間に合わないとの返事。一先ず我々は5時57分発セントレア行きに乗車、どうすればセントレアに間に合うか、P氏とO氏がスマホを駆使し、〇時〇分の電車に乗れ！！と指示を飛ばしなんとかかなりそうな予感。小1時間ほど電車で揺られ6時58分セントレア到着、遅れてきた一人も数十分遅れでセントレア到着。搭乗手続きを済ませ、誰一人欠けることなく7時55分に鹿児島へ向け出発。(大幅な遅刻の場合は新幹線で鹿児島行きを余儀なくされるところでした。よかったですねMちゃん) 約1時間30分のフライトを終え曇り空の鹿児島空港へ降り立ちました。長時間の移動に少し参加者もお疲れ気味か。だがしかしまだまだ移動は続く、バスに乗り込み一気に南下、指宿を目指します。

そして本日の最初のスポット、指宿は砂むし会館 砂楽へ到着し、移動で凝り固まった体を温めます。会館は防水工事で足場が組まれ、一週間後に工事着工、一ヵ月程休業とのことでした。まずは施設で着替えます。裸に浴衣を纏い一同は海岸へ、仰向けに寝て係のおごじょと薩摩隼人に砂をかけてもらいます。顔以外すっぽり砂で覆われ、重く簡単に身動きは取れません。砂はポカポカ温かく、波の音がとても心地よく、係の方が「コロナで観光客不足で体がなまっただけ、お客さんがたくさんくるとうれしいね！」と言われ気持ちのよい旅の始まりとなりました。会館を出ると「おじゃったもんせ」の顔ハメ看板で記念撮影大会が開催されていました(笑)

砂に蒸され整ったところで昼食に白水館・薩摩伝承館でイタリアンのランチ。雰囲気も味もよく、団地旅行でナイフとフォークなんて使ったことがあるのか??なんて声も聞こえ優雅なひと時を過ごしました。帰りは従業員さんのお見送りもあり、ワインがボトルで飛び交っていた為に飲代の金額が心配になりました…

次のスポット、射楯兵主(いたてつわものぬし)神社へ。海にせり出した岩礁に位置し、開聞岳を望み絶景が見渡せます。空と海と木々のコントラストに映える朱色が美しい神社ですが参拝方法にクセがあります。まず釜のふたを頭に乘せます。釜ふたを落とさないようにバランスを取りながら鳥居から拝殿まで歩きます。落とさず参拝できるとご利益があるそう。

この神社別名 釜蓋神社と言い、由来は飛鳥時代まで遡ります。天智天皇と大宮姫の巡幸で、安藤実重中將を訪ねた際に、中將のおもてなしで何十石という米を蒸していたら突風が吹いて釜蓋が天高く飛んでいき風に運ばれ、釜蓋は現在のこの場所である釜蓋神社に落ちた。驚いた人々はこの釜蓋を崇め、拾い神として祀り『釜蓋大明神』と呼ぶようになりその後スサノオノミコトを配祀。そして月日は流れ戦時中は武の神様として仰がれ、釜蓋をかぶって参拝すると、無事に帰ってこれるということで、「かまふた願掛けかぶり」として今日まで伝えられているそうです。しかしながら鹿児島県民でも知らない方も多いようで知る人ぞ知る神社のようです。釜ふたを落とすことなく願掛けを済ませた勝負強い金属団地ご一行は本日最後の場所となる知覧特攻会館へ向かいました。道中、右手に見えていた開聞岳が特攻隊と深い縁が有る事を後ほど知る事になります…

知覧特攻平和会館。太平洋戦争末期・沖縄戦で多くの特攻隊員がここ知覧から出撃しています。人生のうち一度は見ておかないといけない場所と言う人もいます。遺品や手紙から彼らの想いに触れ、

静かに回顧し、平和への願いを一層強め、宿泊場所のダイワロイネットホテル鹿児島天文館へ向かいました。夕食は「吾愛人(わかな)本店」にて美味しい鹿児島料理を堪能して初日を終えました。

■ 2日目

【観光組】

あいにくの雨で桜島も厚い雲で覆われていますがここ仙巖園は、1658年、島津家19代藩主光久によって築かれた別邸です。2015年には明治日本の産業革命遺産として世界文化遺産の構成遺産に登録されています。庭園散策もほどほどにお土産散策。地域クーポンを使えるのはここがベストだろうということで皆さん無事お土産を買うことができました。薩摩切子も販売していましたがクーポンでどうにかなるような値段ではなかったです。続いては今年2月に国宝に指定された霧島神宮へ、参拝の前に境内にある樹齢800年の御神木に圧倒されました。立派で厳かな雰囲気の中参拝を済ませて熊本へ移動します。

熊本は震災の傷跡残る熊本城。観光客も一気に増えて活気に溢れています。天守閣は歴史案内資料館となっておりわかりやすく楽しいもので、最上部からの眺めは素晴らしいものでした。まだまだ復旧復元には時間もお金も掛かるようで、一口一万円の城主を募集しています。復興城主いかがですか。

【ゴルフ組】

ゴルフ組は7時までに朝食とチェックアウトを済ませ慌ただしい出発です。ジャンボタクシーを含めた2台で「鹿児島ガーデンゴルフ倶楽部松元コース」へ向かいました。鹿児島市の中心地からおよそ20km。桜島と霧島を望むなだらかな丘陵台地からなり、南国ならではの陽光が降り注ぐゴルフ場…のはずだったのですが。

当日は朝から小雨が降りしきり、時間とともに天候が崩れて行く予報が出ています。自然を活かした岩やクリークがそこらじゅうに張り巡らされ、唯でさえ戦略的なコースが風雨の影響で難易度が上がります。後半は暴風雨の中でのスタート！安定感抜群のK氏もOBを連発し、私が2番でハマっている時には先頭組の理事長達が歩いてきてフェンスの向こう側から「中止にしないか？」の一言。球を探すのに必死で無視した結果、終わってみれば理事長の優勝となりました(笑)

ゴルフ後はお洒落な九州新幹線で熊本に移動し、カンデオホテルズ熊本新市街で観光組と合流した後「菜な みずき」にて馬刺しコースを美味しく頂きました。

■ 3日目

今日の天気は待ちに待った快晴になったのですが、バス車内は皆一様にお疲れモード、バスガイドさんの声だけが空しく響きます。熊本を出発して途中、地域限定クーポン消費のため北熊本SAに立ち寄り、福岡の水郷柳川下りに向かいました。柳川下りで船頭さんの軽快なおしゃべりと気持ちのいい歌声を聞き、柳川藩主立花邸で現存する古物に接し、別邸の御花で立派なお庭を眺めた後、柳川名物うなぎのせいろ蒸しを食すという鉄板観光を楽しみました。食後には大宰府天満宮でお参りをしたのですが、日曜日、受験シーズン直前、七五三、外国人観光客受け入れ解禁が重なったからか、コロナ感染症を忘れてしまうような混雑ぶり、過去と現在と未来を表す3つの橋は、バスガイドさんの教えの通り、振り返らず、立ち止まらず、つまづかずに気を付けて渡ってきました。帰路では梅枝餅を立食で食しましたが、甘い餡子と焼きたてのお餅が美味かったです。

福岡空港では最後のお土産を沢山買い漁り、16時過ぎのフライトで17時半頃には中部空港へと帰ってきました。3年ぶりの組合旅行は本当に楽しく、無事に帰ってくる事が出来て良かったです。

Friday, 18/11 photo



Saturday, 19/11 photo





Sunday, 20/11 photo



柳川川下り 2022年11月20日

11 月度月例会開催

11月21日(月)正午より組合研修センター 3階集会室にて11月度月例会を開催しました。

中部電力ミライズ(株) 岐阜営業本部 法人営業部 課長代理 西之原信彦様をお招きし、カーボンニュートラルに向けた社会動向と中部電力グループの取組みについてご講演いただきました。

温室効果ガスの排出抑制に向けてたくさんの日本企業が取り組んでいることが分かりました。そして2030年のCO₂削減目標50%以上も2021年には3割以上削減していて目標達成に着実に近づいています。豊かな暮らしと脱炭素を両立させて2050年カーボンニュートラルを達成してもらいたいです。



油流出時訓練開催

11月15日(火)正午から環境委員会と青年部合同で油流出時訓練を実施しました。訓練冒頭、山本環境委員長から金属団地ではここ数年、油に関する事故が無かったが、この1ヶ月の間に2回、微量ではあるが油が川に流れる事故が発生した報告と、この訓練の目的と意義が説明されました。その後、三井川2ヶ所それぞれ状況の違う場合における訓練を行い、油流出時における対応について全員で確認をしました。

企業におかれましては油類の管理を徹底していただくようお願いします。



(株) 東海パウデックス 元社長 西田 俊一様 ご逝去



当組合賛助会員である(株)東海パウデックスの元社長 西田俊一様が10月30日、享年72歳をもって永眠されました。西田俊一様のご逝去に謹んで哀悼の意を表します。

なお、葬儀式は11月2日に近親者のみで営まれました。

金山神社祭礼と金山奉賛会総会

11月8日(火)、金山神社祭礼が伊奈波神社境内にある金山神社にて斎行され、金属団地からも会員が参拝し、金属団地を代表し鈴木理事長が玉串奉奠をいたしました。金山神社には鉱山や治金を司る神様が祀られています。不景気の際は神社参拝が多くなるのが常ですが、金山神社祭礼はコロナ感染症の影響なのか、時代の流れなのか、年を追うごとに参加人数が減っているのが残念です。その後参集殿にて金山奉賛会の総会と懇親会が行われましたが、こちらも食事をその場で取られずお弁当を持ち帰る方が多くおられました。



60 周年記念特集

60 周年記念誌を振り返る ⑨ 「シリーズ『解説』編」

今回で「シリーズ解説」の復刻掲載は終了です。改めて全てを読み直すと時代を越えた共感を得る事が出来たのではないのでしょうか。想定以上に評判が良く、毎号楽しみに読んで下さる方が沢山みえて再掲載して本当に良かったと感じました。編集委員長としましては、いつの日にか「シリーズ解説2」を書いていただける大物が現れる事を期待しています！

第11回：土地再売買予約契約 PART-2

土地の所有権移転について、現在においてもまだ数社が名義変更せずに残っています。建て替えや使用目的の変更が出来ずデメリットも多くなっていると思います。60周年の節目を機会に見直してみても如何でしょうか？

第12回：－原点を知る－

「行き詰ったら原点回帰！」は大切な事だと思います。組合員も二代目から三代目へのバトンタッチがこの10年間でどんどん進み、今後は四代目への承継が始まっていきます。組合ルールや各種行事においても何となく継続している物が多く、各種規約や組合活動の見直しも進めている最中です。

シリーズ

解説

第11回

土地再売買予約契約 PART-2

山本 隆一

今回は先月号の続編です。当組合の発足後、昭和38年に組合と組合員との間に「土地売買予約並びに使用契約書」というのが締結されました。その後、昭和56年企業名義への所有権移転ができるようになり、多くの企業が名義変更を行なったわけですが、その際、所有権移転を行った企業には前記の契約は消滅し、それにかわって「土地再売買予約契約」が結ばれ今日に至っていますが、所有権移転をしないままにしている企業も11社残っています。この未移転の企業には当初の契約がそのまま引続いて有効に働いており、先月号で述べた「好ましがらざる第三者」の侵入を未然に喰い止めております。この契約には「買戻し特約権」というのがついており、土地代金を完納していても名義変更の意志表示をしない限り売買は完結せず、と同時に、その意志表示をして売買が完結したとすれば、その日から、その日を起点としてさらに10年間の買戻し特約権が付与される契約になっているからです。名義変更の意志表示をしない限り、いつまでもずっとこの契約が続くことになり、意志表示をした途端に買戻し特約権が働くという構図です。したがって未移転企業の土地は組合所有のままであり、その土地の使用権があるだけです。ガードの面ではそれで良いとしても、少なくとも契約上は、所有権移転済みの企業に比べると未移転企業には制約が多いと云えます。例えば工場を建てたいとすると、所有権移転済みの企業は自分の土地に建てるだけです。建築をする旨の報告を組合に対してするだけで良いのですが、未移転企業の場合は他人の土地に建てることになります。事前に届出をし、承認を受けなければなりませんし、建物の使用目的の変更や、第三者への賃貸、売却、担保設定等、一切無断でできないことになっています。未移転企業はもちろんそれを承知の上で、何らかの理由があっても名義変更をしないのでしょうか、現時点でみれば、名義変更をしないメリットというのはあまりないように思われます。「とりあえず今、特に必要がないから」という理由のほかに「今、名義変更すれば多大の費用がかかる」ということなのだろうと思われます。名義変更開始後の数年の間はこの形でも致し方ないとしても、すぐにあれから15年も経過した今日でも名義変更をしないのはだんだんデメリットの方も多くなってくるとは思いませんか？と想像されるからです。

さて今、組合は「好ましがらざる第三者」の侵入を喰止める手段として「再売買予約」と「買戻し特約」でガードしていますが、これで全て万全かというとは決してそうとも言い切れないケースもあります。例えばこんなケースです。名義変更をしていないA社が脱退し、別のB社がその後地を購入した時、そのB社が現在の組合員であって、その購入した土地を従前のまま所有権移転をしなかったとすると、その土地は拘束なしの丸裸になってしまうからです。所有権移転企業には「土地再売買予約」があり、未移転企業には当初の「売買予約と買戻し特約」が生きていますが、途中で購入したB社にはこれがないからです。当初の契約は当初のA社との間に結ばれた契約であり、途中で購入したB社との間にはこの契約がとりかわしてありませんからこの土地については丸裸だと云うことができます。実はこうしたケースの企業が前述の11社の中に5社ほど現存しています。「うちはつぶれないから大丈夫」という前に、組合員が足並みを揃えて一本化するという原点に立って、前記のB社のような企業は、なるべく速く所有権移転を行なって頂きたいものだと思います。又、当初からの未移転企業も事情のゆるす限り、名義変更に向けての努力をして頂いた方がよろしいのではないかと思います。如何でしょうか？

275号(1997年8月)

シリーズ

解説

最終回

—原点を知る—

山本隆一

12回シリーズで始めたこの企画も、今回でようやく最終回を迎えました。組合にそんなに多くの話題が次々にあるわけではなく、つまるところネタ切れなのです。そもそもこのシリーズでは、現在の組合のいろいろな規則や、システムや、ルールが、その出発点ではどういう発想のもとに行われたのかを、今一度、原点に遡って振り返ってみよう、という趣旨で始めたものです。現在の組合を構成する組合員は、オヤジさんの時代から受け継いだ二世の方々が多くをしめるようになりましたが、その二世の人達が、先代のオヤジさんからこの組合の生い立ちや問題解決について、ほとんど何も聞かされていないということを、或る機会に知ったのがこのシリーズを始めようとしたキッカケです。息子は息子、オヤジはオヤジという感じで、息子はオヤジの時代の創業期が、かなり白熱した時代であった事を、漠然と感じてはおりますが、その議論の論点がどこにあったのか、どうして会議の度毎に大論戦が展開され、ケンカにまで発展することになったのか、そのウラ事情を、オヤジもあまり息子に話したがないし、息子もあまり聞こうとしないので、現在のシステムが、昔からさりげなく、ごく普通に存在していたという範囲の認識にとどまっているのです。行きつまつたら原点復帰とよく云われますが、その原点がどうだったのか、知っている人はどんどん現役を離れ、知らない人ばかりになってくると、原点の所在がわからなくなる、どうやら組合もそんな傾向があるようです。昔、議論して選択したことが今後も正しいとは申せませんし、過去の成功体験がそっくりそのまま役に立つとは云えません。その時の原点では何があったのかを知った上で、その後の経緯と結果を知った上で、今の時代に最も適した選択をすることが肝要ではないかと思えます。

去る7月初旬、組合員企業の一社から油流出事故が起きました。その次の日と、またその次の日に別々の企業から2件の小規模な流出事故が発生、合計3件の同じような事故が立て続けに起きましたが、その時、組合員の頭にかすめたことは、このシリーズ解説の第5回で取り上げた「神のたたりじゃあー南宮神社参拝」の一節です。あの時からもう何年も、何事もなかったことへの気のゆるみに対する神のゲンコツが、「ポカリ」と振りおろされ、ハッと気付いたそんな気持ちを、当時を知る人は皆んな一様に思ったことでしょう。その「当時を知る」ということ、これが原点復帰です。組合は長年の間に、壊れたり、なくなってしまった流出事故に備えた資材一式を再点検、再整備することになりました。環境委員会を中心に、緊急連絡体制を再構築し、青年部や消防団、それに組合員を募って、流出事故即時対応訓練を実施することになりました。その昔のあの時の、あの経験に、新しいやり方を加えて、あの時のことを知らない人々に受け継いでゆこうという発想。これはまず、あの時のことを知るところから始まるのだと思います。このシリーズを書き始めた動機は、実はそんなところにあったのです。

最後に、私がこのシリーズで取り上げた話題は、全て20年近くを経過したものばかりです。それでもその当時、その出来事に直接たずさわった方々には、あるいは不快な思いを与えた言質があったかも知れませんが、それもこれも、なにせ20年も経過した過去完了の物語としておゆるし頂きたいと思っています。もっと詳しく書くともっとおもしろくなるのですが、これ以上書いたら、本気でしかられるという一歩手前で筆を止め、「20年も前のことだからゴメンネ」と、云いのがれができるところでやめておきました。長らく御愛読ありがとうございました。



『しらんけど』

さすが「キムタク」である。令和の信長公こと木村拓哉さんが、「信長まつり」を武者行列で岐阜県を大いに盛り上げたことは、皆様の記憶に新しいかと思います。その「かつてない盛り上がり」、「地域経済へのインパクト」そして「未だ衰えぬブランド力」については、数多あるキムタク論記事に譲ります。今回は、同じくジャニーズ事務所所属である、「ジャニーズWEST」なるグループの楽曲について語ってみたいと思います。その名も、「しらんけど」。

昭和のアイドル製造工場、ジャニーズ事務所をご存じない方はいないと思います。近年は価値観の多様化もあり、いわゆるSMAP級の「大スター」の排出にご苦労をされている模様です。それでも次々とアイドルグループを世に送り出すその手腕には目を見張るものがあります。その中で、「関西」をフィーチャーしたグループが「ジャニーズWEST」です。

彼らが2022年3月にリリースしたアルバム曲の中に、かなりのパワーワードがありました。それが「しらんけど」です。

バラエティーテレビ番組でも取り上げられる機会が多い言葉です。

ともすれば、「私は責任をもてませんよ」の意を付け足すネガティブワードともなりえますが、使い方によっては、ポジティブかつ今後の時代にマッチした言葉ではないでしょうか？

近年、価値観の多様化がかつてない規模と速度で進行しています。それこそ SMAP の楽曲でいえば「世界に一つだけの花」が百花繚乱状態です。多様化については、中小企業が組織運営として対応しなければいけない要素も数多く存在します。「SDGs」、「LGBT」、「働き方改革」、「雇用のミスマッチ解消」等々、その一つだけでも、なかなかの対応ボリュームです。

社会と組織の多様化を会社成長の機会と捉えるならば、組織構成員の「一人ひとり」に対して、きめ細やかな対応を実施し、その適切な組合せと発揚によって、企業価値の増大と比較優位性の獲得に繋げる事が狙える時代でもあります。

ただし、人間は肩寄せあって「社会集団」として生きている以上、一定の基準やそれに対するルールも必要です。個人の多様性と組織の運営の間に生ずる相克に関し、「理想と現実」、「その中でのPDCA」、「なかなかに進まない対応」に世の皆々様が苦労している事かと思います。

まさに浪花節で頑張るしかありません。上記ご紹介のアルバム中の別楽曲名に「喜怒哀楽」、「涙腺」、「進むしかねえ」などが見られるのですが、令和グループもなかなか分かっているねと おじさんトークの一つもかましたい気分です。

多様化に正解はありません。時にお互いの厳しい意見交換もあるでしょう。ただ、見解が相違するときこそ、【笑顔】で「しらんけど」の一言を添える事で、「私は自身の意見を述べました。しかしこれが絶対正義と考えないです。貴方に強要するものではありません。強要でなく協力してください。」とのニュアンスを伝えられるのではないかと思いますこの頃です。

「しらんけど」

マルフ



社長就任祝い

10月29日(土)18:00より肉を楽しむ和バル 岐阜屋 岐阜店にて常盤工業株式会社 山内寛明さんと株式会社 豊菱製作所の鈴木陽太郎さんの社長就任祝が開催されました。山内社長・鈴木社長へのお祝いの乾杯の後はお肉料理を楽しみました。その後は青年部活動で製作中のバーベキューコンロとパターの進捗状況やプライベートの話で各々盛り上がり社長就任祝いを終えました。

山内さんと鈴木さん社長就任おめでとうございます。



油流出時訓練後のごみ拾い

本年度も油流出時訓練に青年部も参加させていただきました。直近で三井川への油流出が取沙汰されたこともあり、いつもとは雰囲気は多少は違っていた(?)気がします。(私はこの訓練に関してはいろいろ思うところがありますが…)

訓練後は、これもまた例年通り、三井川の周囲のごみ拾いを青年部メンバーで行いました。十数年前はまだまだ拾うゴミが多くありましたが、最近ほとんどゴミもなく、ゴミ拾いというより見廻りになっている、そんな気がします。ゴミが少なくなったことがこの活動のおかげかどうかはわかりませんが、この活動をずっと続けているからこそ気づく変化だと思います。コツコツと続けていくことが大事だということを改めて感じました。(ただ「惰性」は回避しなければなりません…)



新入会員ご紹介



この度、金属団地青年部に入会させていただきました株式会社サクラダ工業、横山綜大(そうた)です。10月に入社したばかりで、知識や経験が乏しいため皆様にご迷惑をお掛けすることがあると思います。諸先輩方から学ばせていただき、少しでも早く一人前になれるよう日々精進して参ります。何卒ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



貴族の生活

(株)豊菱製作所

鈴木 陽太郎

私の休日は、木々の木漏れ日と小鳥のさえずりを目覚まし時計の代わりに、さわやかな朝を迎えます。庭のベンチに腰かけて、目の前の大自然を見ながらお気に入りのティーカップに淹れたばかりのコーヒーの香ばしい匂いに包まれながらホッと一口。「ああ、今日も何か良いことが起こりそうだな。」と思いながら新しい1日が始まる。

そんな貴族みたいな生活にあこがれていました。

現実には、そんなに甘くありません。夜明け前、衝撃と共に「痛っ」という自分の声で目が覚める。顔の上に何か乗っている・・・、子供の足か。携帯電話を確認すると「ああ、まだ5時前か。」もう少し寝ていたい、一度目が覚めてしまったものは、そう簡単には寝られません。そうこうしている内に、日の出と共に我が家のチビッ子が目を覚まし、平穏な時間が崩されていきます。「ああ、この騒ぎを収めるためにはどうすればいいのか・・・、そうだ、どこかに連れ出そう。」しかし、このコロナ禍で2年間まともに外出をしていないことで体にある変化が起こりました。人混みに行くと、酔うようになったのです。日曜日のお昼時イオンに行こうものなら気持ち悪いなんてものではありません。そうになると、外に連れ出すにしても公園、動物園、遊園地などの屋外に限られてきます。屋外であろうと動物園や遊園地なんて所は人混みを避けられない。「よし、行く場所を発掘しよう。」マイナー？といった失礼だが、他人から聞いたことが無い場所で楽しそうな場所に行けば満足できるのではないかと。早速、ネットで口コミ検索。ネットで口コミを利用して探している時点で、人気スポットばかりでくるという矛盾を理解しつつも検索・・・。その中でも今回大当たりだった場所を紹介したいと思います。その場所は「ヤンマーミュージアム」です。「僕の名前はヤン坊」のフレーズから始まる曲を皆さんも一度は聞いたことがあると思います。そのヤンマーのミュージアムなのですが、ボートやトラクターが展示されているだけの施設ではありません。詳細は割愛しますが、子供用のアスレチックや、大人も子供も楽しめる体験施設などがあり、非常に良かったです。是非興味ある方は足を伸ばしてみてくださいいかがでしょうか？



R05 “工業系高校”からの新規高卒の応募・内定獲得のために その6

令和3年度新規高卒採用力“戦闘力区分”と求人企業数・内定企業数の関係

先月号では、求人条件（求人票記載事項）を地区及び業種ごと（航空機・自動車・製造・建設業等）で分析して新規高卒の応募内定獲得の地域差・業種差を検証し、新規高卒の応募内定を獲得する求人条件の、①従業員数、②平均初任給、③週休二日制の実施状況、④週休二日制実施企業、⑤年間休日数、⑥離職状況、⑦新規高卒採用力：戦闘力についての分析結果を紹介させて頂きました。今月はその続編として、戦闘力区分と求人企業数・内定企業数の関係について紹介させて頂きます。

企業の新規高卒求人票の記載事項を新規高卒採用力“戦闘力”として可視化するための換算表を、表1に掲載させて頂きます。

項目	得点	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
1 求人票受付番号	10	801~	801~800	701~800	601~700	501~600	401~500	301~400	201~300	101~200	1~100
2 従業員数	10	1~49	50~99	100~199	200~299	300~499	500~999	1,000~2,999	3,000~4,999	5,000~9,999	10,000~
3 週休二日制	10	~128.888	130,000~134.888	135,000~138.888	140,000~148.888	150,000~158.888	160,000~168.888	170,000~178.888	180,000~188.888	190,000~198.888	200,000~
4 週休二日制	5	—	—	—	—	あり	—	—	—	—	—
5 年間休日数	10	~99	100~102	103~104	105~106	107~109	110~111	112~114	115~119	120~124	125~
6 通学	5	—	—	—	—	可	—	—	—	—	—
7 学費減免	10	—	—	—	—	あり②	—	—	—	—	あり①
8 寮の設備	5	—	—	—	—	あり	—	—	—	—	—
9 学費減免あり	5	—	—	—	—	あり	—	—	—	—	—
10 2年目の就職率	10	100%	81%~88%	61%~80%	51%~60%	41%~50%	31%~40%	21%~30%	15%~20%	1%~8%	0%
11 1~2年目の就職率	10	100%	81%~88%	61%~80%	51%~60%	41%~50%	31%~40%	21%~30%	15%~20%	1%~8%	0%
12 求人票記述項目	5	20%未満	20%~49%	50%~69%	70%~89%	90%~	—	—	—	—	—
13 求人票記述項目	5	20%未満	20%~49%	50%~69%	70%~89%	90%~	—	—	—	—	—

表1 新規高卒求人票記載情報の可視化：求人情報の“戦闘力”換算表

表1は、企業が高校に提出された求人票の12の記載項目について10段階にランク分けし1～10点で得点化した「戦闘力」換算表です。項目1の“求人票受付番号”は、各高校で求人票を受け付けた時に振る“受付順の番号”で、求人データベースへの登録番号になります。求人票受付番号が若いほど応募・内定獲得の割合が高くなるとの過去5年間の分析結果から、100番以内を10点としています。項目2の“従業員数”は企業固有のもので、49人以下を1点、10,000人以上を10点としています。項目3～11は各企業の戦略により変動するものです。項目12及び13の“求人票記述項目”は、“高校生に仕事内容や教育制度、福利厚生制度等について、いかにして自社の魅力を伝えるか”について採用担当者様が腕を振るわれる（書きぶりを工夫される）項目です。13項目の合計（戦闘力）は100点満点です。なお、各項目の得点区分については、過去6年間の岐阜県工業系高校への新規高卒求人企業（延8,500社余）のデータ分析結果から私が決めたもので、企業の新規高卒採用力を得点化（可視化）する分析は独自の方法です。また、県内の工業系高校とは、受験先企業決定のための求人企業“魅力度”チェックシートとして共有しています。

以下の図1～図12は、令和2年度及び令和3年度に県内工業系高校に求人票を提出された企業（1,370社・1,340社）の求人情報を新規高卒採用力：戦闘力として得点化し、その得点区分と応募・内定獲得の関係を示したものです。図1は、各務原市内企業の令和2年度の戦闘力得点区分と応募・内定獲得の関係です。図2は、令和3年度の各務原市の状況です。令和2年度（図1）及び令和3年度（図2）ともに、戦闘力区分が高いほど区分の内定獲得企業の割合が高くなっています。令和2年度では、戦闘力50点以上の区分の内定獲得企業が37社中18社、内定率48.6%、令和3年度では、戦闘力50点以上の区分の内定企業が41社中21社、内定率51.2%となっています。戦闘力が49点以下では、令和2年度の内定企業は47社中3社、内定率6.4%、令和3

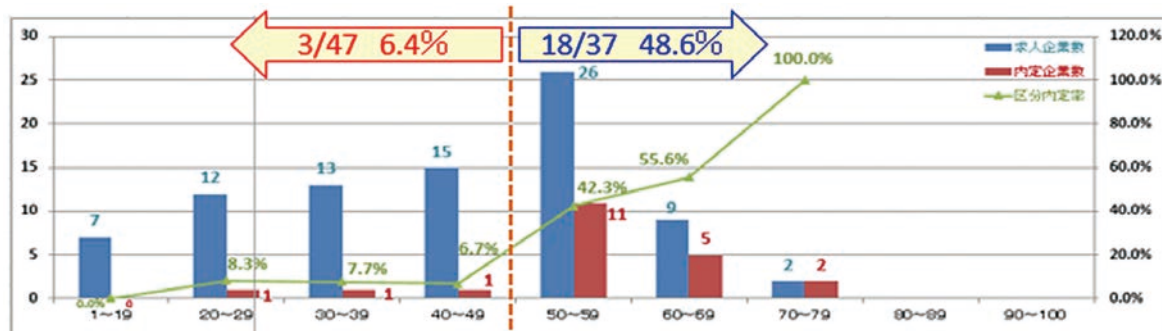


図1 令和2年度戦闘力区分と求人企業数・内定企業数の関係：各務原市

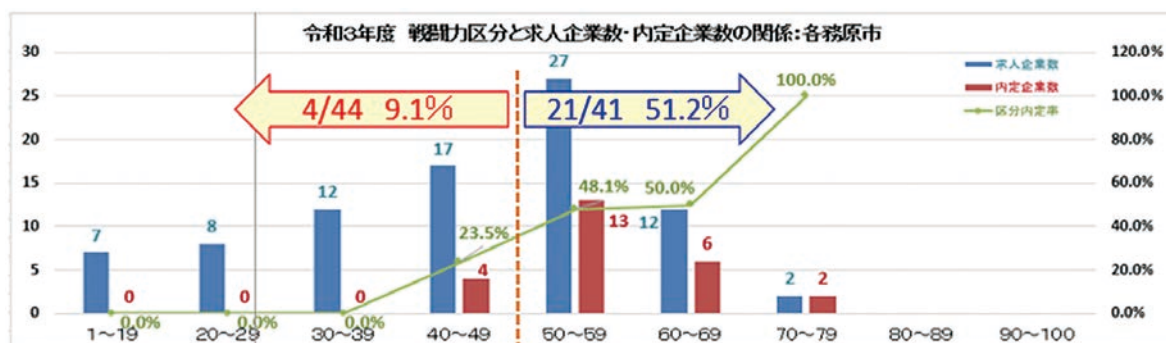


図2 令和3年度の戦闘力区分と求人企業数・内定企業数の関係：各務原市

年度では、44社中4社、内定率9.1%と低い内定率になっています。このように、令和2年度と令和3年度の戦闘力分析結果において、戦闘力区分と内定企業との関係には強い正の相関関係がみられます。

図3は、令和2年度の岐阜地区の戦闘力区分と求人企業数・内定企業数の関係、図4は、同令和3年度の分析結果です。

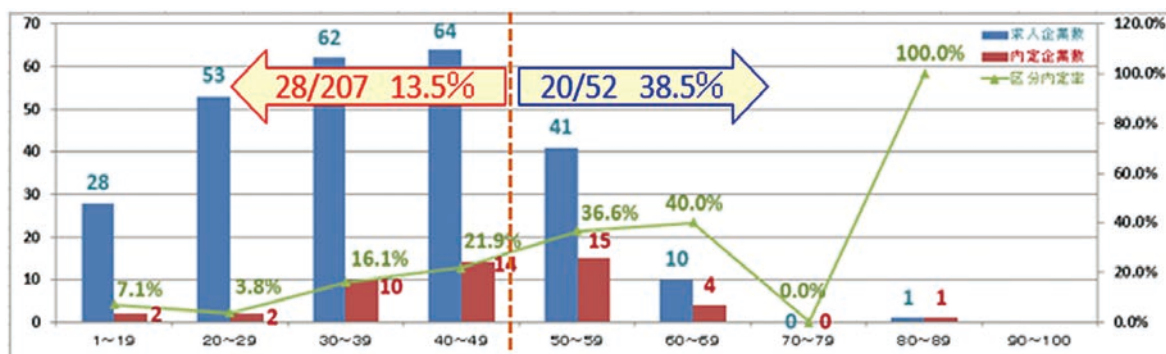


図3 令和2年度戦闘力区分と求人企業数・内定企業数の関係：岐阜地区

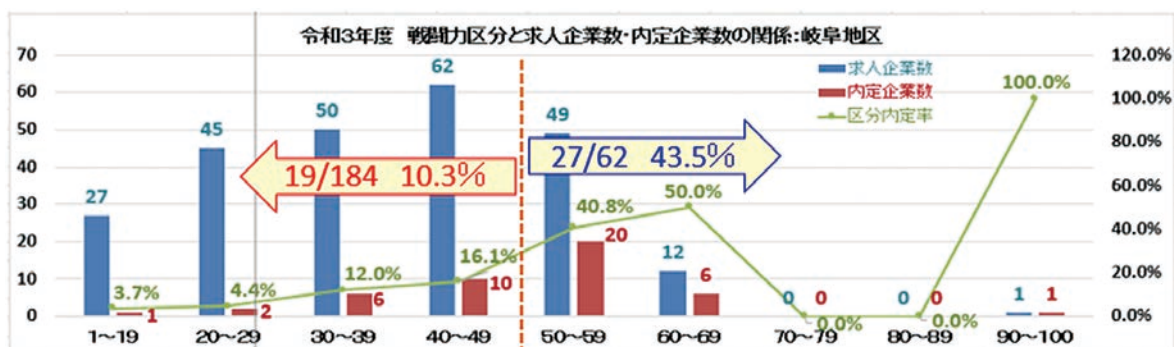


図4 令和3年度戦闘力区分と求人企業数・内定企業数の関係：岐阜地区

岐阜地区では、戦闘力が50点以上の区分で、令和2年度の求人企業52社中、内定獲得企業が20社、内定率38.5%、令和3年度では、求人企業62社中、内定獲得企業が27社、内定率43.5%となっています。戦闘力49点以下の区分では、令和2年度は、求人企業207社中、内定獲得企業が28社、内定率13.5%、令和3年度では、求人企業184社中、内定獲得企業が19社、内定率10.3%となっており、両年度とも戦闘力区分50点以上の内定率が圧倒的に高くなっており、両年度のグラフには正の相関関係が見て取れます。

図5は、令和2年度の岐阜県の戦闘力区分と求人企業数・内定企業数の関係、図6は、同令和3年度の分析結果です。岐阜県では、戦闘力が50点以上の区分で、令和2年度の求人企業168社中、内定獲得企業が61社、内定率36.3%、令和3年度では、求人企業175社中、内定獲得企業が64社、内定率36.6%となっています。戦闘力49点以下の区分では、令和2年度は、求人企業371社中、内定獲得企業が36社、内定率9.7%、令和3年度では、求人企業175社中、内定獲得企業が64社、内定率36.6%となっており、岐阜においても、両年度とも戦闘力区分50点以上の企業の内定率が圧倒的に高くなっており、両年度のグラフには強い正の相

関関係が見て取れます。

令和3年度に戦闘力90～100点の区分で内定獲得の企業は、求人条件の改善により令和2年度の戦闘力区分80～89点の区分から1ランクアップした企業で、当然ながら内定獲得ができています。

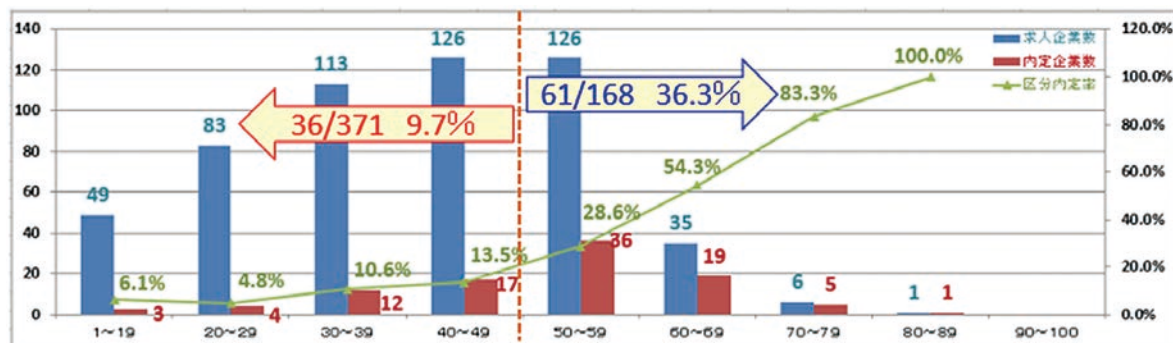


図5 令和2年度戦闘力区分と求人企業数・内定企業数の関係：岐阜県

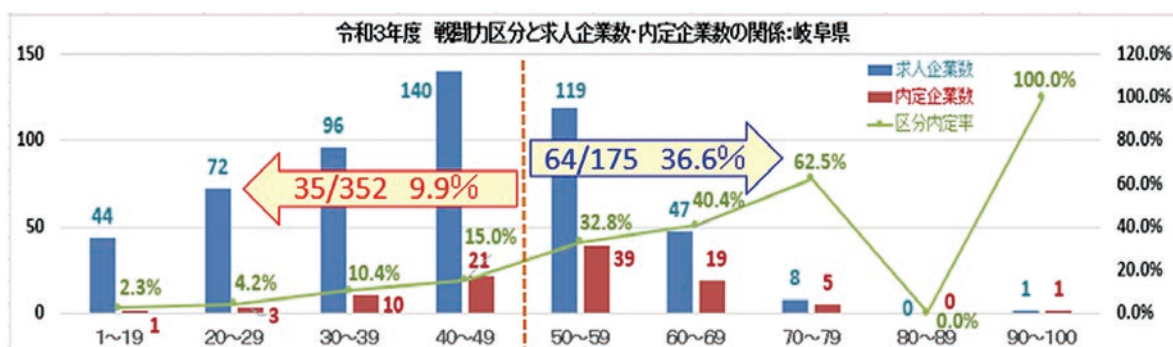


図6 令和3年度戦闘力区分と求人企業数・内定企業数の関係：岐阜県

図7は、愛知県の令和2年度の戦闘力区分と応募・内定獲得の関係、図8は、同令和3年度の分析結果です。

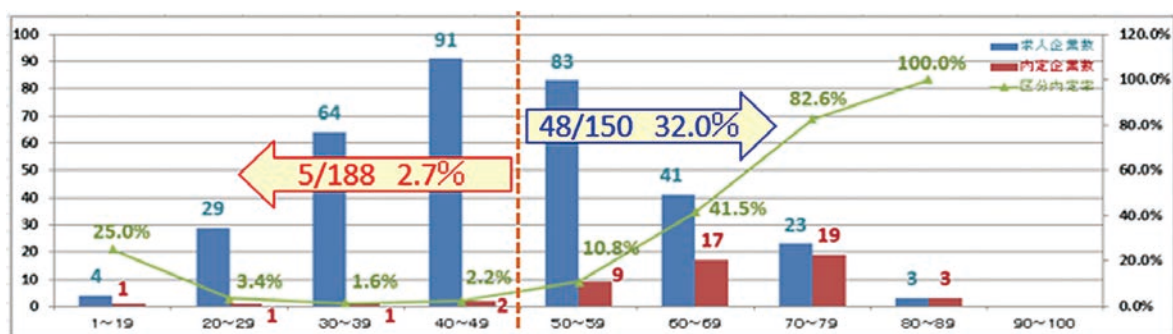


図7 令和2年度戦闘力区分と求人企業数・内定企業数の関係：愛知県

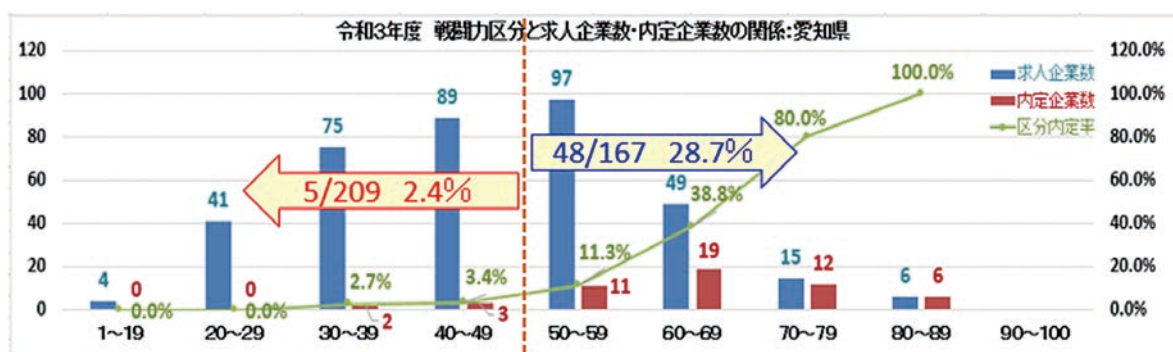


図8 令和3年度戦闘力区分と求人企業数・内定企業数の関係：愛知県

愛知県県では、戦闘力が50点以上の区分で、令和2年度の求人企業150社中、内定獲得企業が48社、内定率32.0%、令和3年度では、求人企業167社中、内定獲得企業が48社、内定率28.7%となっています。

戦闘力49点以下の区分では、令和2年度は、求人企業188社中、内定獲得企業が5社、内定率2.7%、令和3年度では、求人企業209社中、内定獲得企業が5社、内定率2.4%となっており、愛知県内企業においても、両年度とも戦闘力区分50点以上の内定率が圧倒的に高くなっており、両年度のグラフには強い正の相関関係が見て取れます。岐阜県の分析結果と比較して、愛知県の求人企業では戦闘力区分が50点以上の企業の割合が圧倒的に高く、戦闘力の高い企業が選択される比率が岐阜県よりも高くなっていることが特筆すべきことです。

図9及び図10は、愛知県の企業内学園保有企業の令和2年度及び令和3年度の戦闘力区分と応募・内定獲得の分析結果のグラフです。

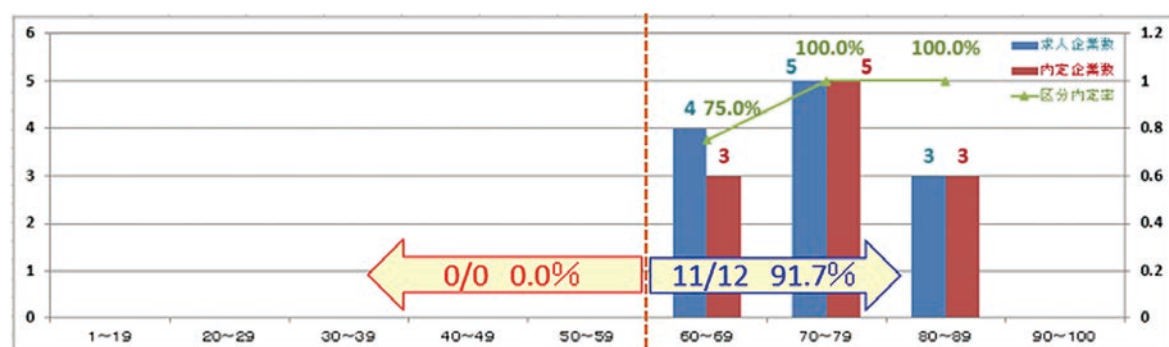


図9 令和2年度戦闘力区分と求人企業数・内定企業数の関係：愛知県の学園保有企業

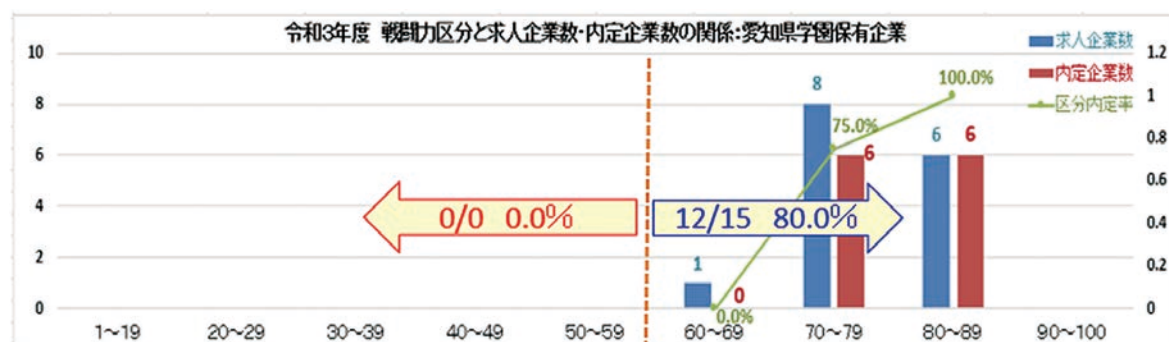


図10 令和3年度戦闘力区分と求人企業数・内定企業数の関係：愛知県の学園保有企業

愛知県には、トヨタ自動車(株)や(株)デンソー、(株)アイシンなどのトヨタグループ等19企業が、厚生労働省認可の企業内学園を保有しています。これらの学園保有企業は、①学園保有、②寮の設置等得点により当然のことですが高い戦闘力となっており、岐阜県内の工業系高校では毎年多くの生徒たちが内定を得ています。この企業内学園は、九州地区等の全国から愛知県に就職者を集める大きな武器にもなっています。この九州地区等からの愛知県の企業への就職状況については、過去10年分以上のデータ収集・分析をしていますので、機会を見て紹介をさせて頂きたいと思っています。(少子化の進行により、地元の高校生が少なくなってしまう時に企業が生産活動を維持・発展させるためには、新規高卒採用活動の範囲を“広域化”せざるを得ない状況となることが予測されます。)

企業内学園保有企業では、令和2年度・3年度ともにすべての求人企業が戦闘力60点以上です。令和2年度は求人企業12社中内定獲得企業が11社、内定率は実に91.7%と大変高い値となっています。唯一内定獲得ができなかった1社については、その原因を調べてみましたが、3年目離職率が他の企業よりは格段に高いことが敬遠された理由ではないかと推測しています。令和3年度は求人企業15社中内定獲得企業が12社、内定率は実に80.0%と高い値となっています。自動車関連産業のコロナ禍からの回復により求人企業数が増えたことや他産業からの求人数の増加により、県内工業系11高校の全てで過去最高の求人倍率となったことが、企業内学園の内定獲得率が令和2年度よりも低くなった要因と分析しています。企業内学園保有企業でも、厳しい新規高卒獲得戦線になっているということが出来ます。

図11は、令和2年度の求人企業全体（岐阜県・愛知県・関東地区・関西地区：求人企業1,370社、応募内定獲得企業159社、応募内定獲得率11.6%）の戦闘力区分と応募・内定獲得の関係、図12は同令和3年度の求人企業全体（求人企業1,340社、応募内定獲得企業163社、応募内定獲得率12.2%）の戦闘力区分と応募・内定獲得の関係です。

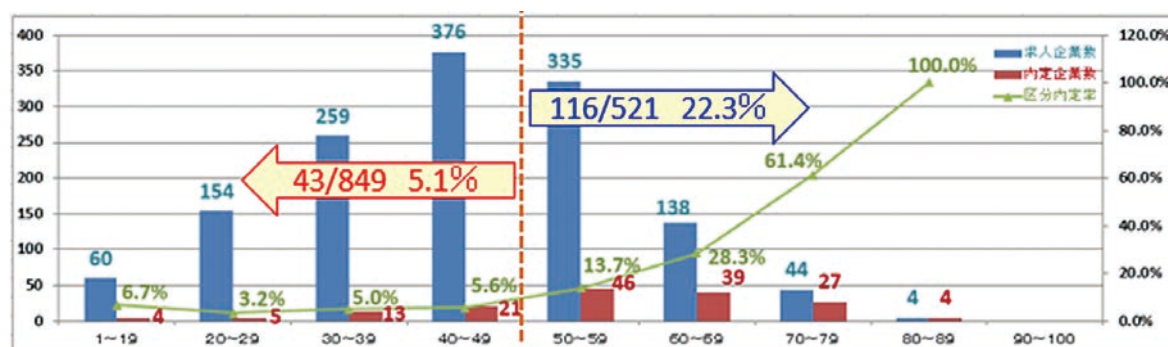


図11 令和2年度戦闘力区分と求人企業数・内定企業数の関係：求人企業全体

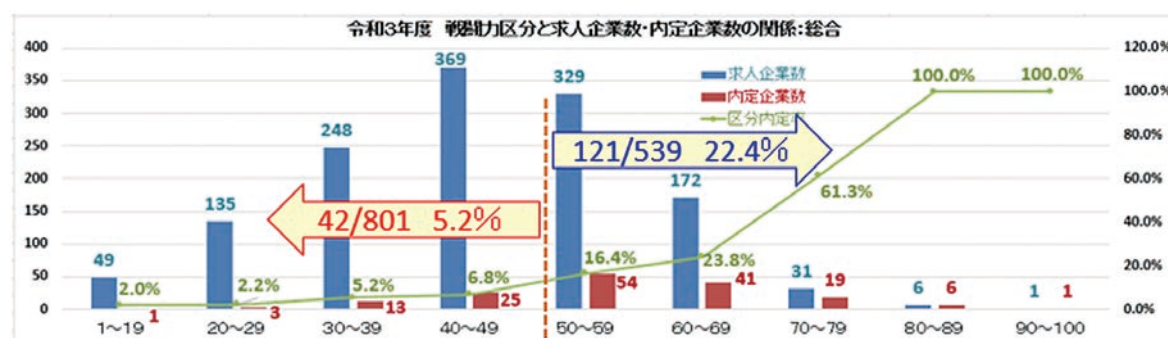


図12 令和3年度戦闘力区分と求人企業数・内定企業数の関係：求人企業全体

令和2年度は、戦闘力50点以上では、求人企業521社のうち116社：22.3%が応募・内定を獲得しており、応募・内定獲得企業159社に占める割合は73.0%と高い値となっています。戦闘力49点以下では、求人企業849社のうち43社：5.1%が応募・内定獲得であり、非常に低い値となっています。応募・内定獲得企業に占める割合も27.0%と低い値となっています。

令和3年度は、戦闘力50点以上では、求人企業539社のうち121社が応募・内定獲得しており、応募内定獲得率は22.4%となっています。また、応募内定獲得企業163社に占める割合は74.2%と非常に高い値となっています。戦闘力49点以下では、求人企業801社のうち応募・内定獲得企業が42社、応募内定獲得率は5.2%、応募・内定獲得企業163社に占める割合も25.8%と低い値となっています。求人企業全体においても、戦闘力区分と求人企業数・内定企業数の関係は、令和2年度、3年度との間には強い正の相関関係が見て取れます。

以上の分析結果から、各年度・各地区とも応募・内定獲得を分ける戦闘力の分岐点は50点となっており、戦闘力区分が高いほど区分の応募・内定獲得率は高くなっています。この“戦闘力と応募・内定獲得の関係”については、過去の金属団地ニュースにて2回紹介させて頂いています。今回のこの調査・分析結果をと合わせてご覧いただき、令和5年度の新規高卒採用に向けて貴社の求人票の点検を行って頂ければと思います。

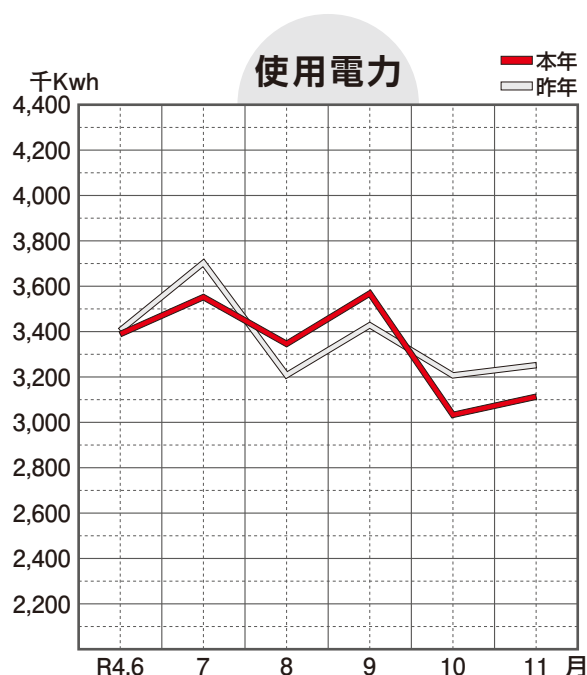
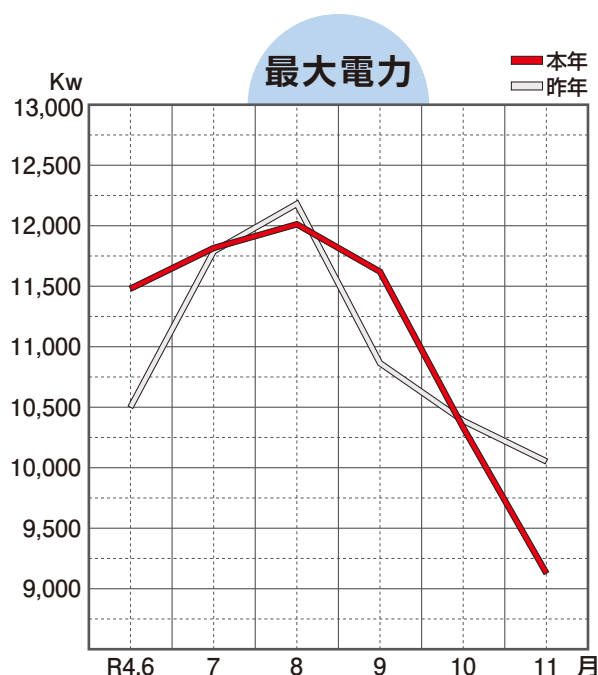
従業員数49人以下の企業（企業規模戦闘力得点：1点）の採用担当者におかれましては、新規高卒採用戦線でライバル企業に勝つために戦闘力50点を超えるにはどうしたらいいのだろうか？このような不安と疑問が湧いてくると思います。このような不安や疑問を解消するために、次回は、『新規高卒採用力・戦闘力診断シート』を解説しながら、従業員数49人以下の企業が戦闘力を50点以上にするための“対策”について紹介させて頂く予定です。

（文責：各務原市産業活力部商工振興課企業人材全力応援室人材確保相談員 長屋千秋）



お知らせ

令和4年11月分電力使用状況



電気は正しく使いましょう！！

石炭火力発電

COP27では、日本はいつも通り化石賞を受賞することとなりました。日本の電力事情が石炭火力発電に依存していることや石炭火力発電を輸出していることが理由となります。元々、石炭火力に依存していない欧州が批判するのはどうかと思いますが。

しかし日本の石炭火力発電は目覚ましい進歩を遂げてきました。最新のものは石油火力よりCO₂排出量が少なくLNG火力に迫ってきています。石炭火力発電は安価で採掘量が多く安定供給が可能のため多くの国では主流となる発電のため、これを輸出することは環境への負荷を大きく減らす速効性の高い対策となります。

再エネ一辺倒では安定した電力供給すらままならない現状に多くの先進国が苦しんでいます。再エネは不安定、天然ガスは価格が高騰しより化石燃料の重要性は増していった現状をどう認識しているのかは余計なお世話ですが心配になってしまいます。(実際には再エネ関連の生産・輸出国にとって日本の石炭火力の技術進歩は邪魔でしかないだろうな)

行事予定

2022 **12** December

16 金	
17 土	団地G・団地G忘年会 『組合休日』
18 日	
19 月	臨時総会・月例会・役員会
20 火	
21 水	
22 木	
23 金	
24 土	『組合休日』
25 日	
26 月	
27 火	
28 水	
29 木	
30 金	『組合休日』
31 土	『組合休日』

2023 **1** January

1 日	『元日』	
2 月	『振替休日』	
3 火	『組合休日』	
4 水	『組合休日』	
5 木	『組合休日』	
6 金		
7 土	『組合休日』	
8 日		
9 月	『成人の日』	
10 火	令和5年新年互礼会(金属団地)	
11 水	令和5年新年互礼会(各務原商工会議所)	
12 木		
13 金		
14 土	『組合休日』	
15 日		

1月の行事予定

1月29日  金属団地ボウリング大会

11月度金属団地ゴルフ会

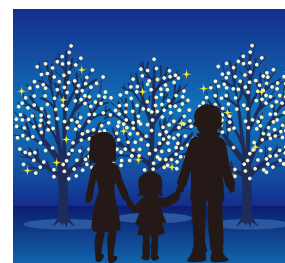
11月26日  三甲ゴルフ倶楽部谷汲コース

優勝 森田吉久(テクノ共栄) 2位 永田 保(マルエイ) 3位 鈴木陽太郎(豊菱製作所)

共同駐車場空き状況 (2022年12月1日現在)

駐車場	資材置場北	喫茶店北	倉庫南	福祉会館東	C棟南
空き数	0	0	0	1	1
駐車場	研修センター東	研修センター南	研修センター西	溶接組合	三井川東
空き数	0	0	0	0	0

※C棟南はC棟入居者用



G-MECCA

Gifu Metal Engineering Community Cooperative Association

<http://www.g-mecca.jp>

